朝焼けへの道

2013年12月19日　No.12

編集・発行　鈴鹿市革新懇事務局　萩森 繁樹
〒513-0012 鈴鹿市石薬師町354　090-4269-0965

TPP連鎖学習会に50名
櫻谷先生の話に確信深める

12月8日（日）午後、鈴鹿市文化会館さつきプラザで、櫻谷先生（三重大学名誉教授）を招いて、TPP学習会が行なわれました。「新聞の行事案内を見て来た」という人を含め、約50名が参加しました。

TPPがもたらす「農業」「医療」「食」への懸念について、農業者の早川喬さん、民医連の藤井新一さん、三重県生協連の岡本さんが報告し、それらを受ける形で櫻谷先生が講演をしました。

鈴鹿では3回目となる櫻谷先生の登場ですが、今回も参加者に新鮮な感動をもたらしました。特に「日本人がいまでも信じるTPP神話」には質問も出るなど、関心を呼びました。

1つ目は「日本は閉鎖的」という神話。菅首相が「平成の開国」といったが、実は工業関税は日本が最も低い（例：自動車では日本0％、米国2・5％）。日本は鎖国なんかしていない。

2つ目は「日本の農業は過保護だ」という神話。農業所得に占める政府からの直接支払いを比べると、日本15％なのに対し、米国26％、フランス90％、イギリス95％。他国は「農業を守ることは、国の安全保障にかかわること」と考えて予算を投入しているが、日本はたいへん予算が少ない。

3つ目は「グローバリゼーションはいいことだ」という神話。世界の市場が一つになれば貿易は発展するからアメリカがめざすことに間違いはない、という論調があるが、実はアメリカは自国企業の利益しか考えていない。自国に有利なら自由貿易、不利なら管理貿易。グローバリゼーションは建てまえでしかない。

夜は櫻谷先生を囲んで懇親会。生協連の岡本さんなど11名が参加し、講演で聞き足りなかったことなど、質問が飛び交いました。［吉田一男］

感想文ありがとうございました。

一部ご紹介します。全文はブログに掲載。

○櫻谷先生の話を3回お聞きしました。2回目のときは研究者らしい証拠とデータを駆使して歴史的に明らかにして頂きました。今回はとても分かりやすく、コンパクトで先生のお人柄も感じられる親しみやすさで、ますます先生のファンになりました。何度も来ていただき、本当に喜んでいます。（農民太郎）

○櫻谷先生のお話は2回目。前回よりわかる部分が増えた。先生が懸命に難しい問題を整理して、少しでも本質をわかりやすく伝えてくれようとしている姿勢がありがたく思いました。

○TPPの学習会に初めて参加。大変わかりやすかった。農産物は国の安全保障という観点が日本政府にはないことがよくわかった。（玉垣の人）

○ISD条項が憲法の上に来るということについて、一般論として理解すれば、多国籍企業の利益が憲法の上に座ることになるという姿を認めることになる。恐ろしい世界が見通せる。TPPは認めるわけにはいかない。個々の国益論にまどわされず、万国の人民の団結が次の時代を作る力になるだろうと考えることが大切だ。

鈴鹿革新懇ブログを見よう広めよう

鈴鹿革新懇話会　検索

鈴鹿革新懇　忘年会

12月25日（水）夜6時～

白子駅東じろちょう（予定）

会費：3000円＋α、飲まない人1500円

フクシマを忘れない！歌と講演のつどい
7月6日、鈴鹿市文化会館 落合恵子さん決定